



As-me ESTELLE

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 As-meエステール株式会社

コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 羽生 達夫

TEL 03-5777-5120

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	15,984	1.6	47	△94.2	△44	—	△302	—
26年3月期第2四半期	15,731	9.4	813	△16.5	1,033	△3.1	564	△12.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △232百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 543百万円 (△3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△27.16	—
26年3月期第2四半期	50.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第2四半期	32,988	—	12,545	—	38.0	1,124.54
26年3月期	33,589	—	13,058	—	38.9	1,170.54

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 12,545百万円 26年3月期 13,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の1株当たり期末配当金は、創業60周年記念配当3円00銭を含んでおります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,450	0.1	1,350	△40.2	1,200	△54.5	730	△56.1	65.43

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	11,459,223 株	26年3月期	11,459,223 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	303,083 株	26年3月期	303,083 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	11,156,140 株	26年3月期2Q	11,156,148 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更	2
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、積極的な財政・金融政策が継続されるなか、企業業績と雇用環境には引き続き改善がみられましたが、個人消費では、消費税増税前の駆け込み需要の反動により大きく減退した後、天候不順などにより回復の足取りは鈍いものとなりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、当社では客単価の低下などにより前年同期比で減少しましたが、前第2四半期から連結業績に含めた(株)BLOOMの売上高が当四半期累計期間の通期で寄与し、159億84百万円（前年同期比1.6%増）となりました。営業利益は、販売費の増加などにより47百万円（前年同期比94.2%減）となり、経常利益は、負ののれんの償却が前期で終了したことなどから44百万円の損失（前年同期は10億33百万円の利益）となりました。四半期純利益は、3億2百万円の損失（前年同期は5億64百万円の利益）となりました。

なお、当四半期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品	眼鏡	
会社名	As-me エステール(株)	(株)BLOOM	キンバレー(株)
前期末店舗数	373	134	45
新規出店	4	4	—
閉店	△3	△5	—
当四半期末店舗数	374	133	45

(注) (株)BLOOMの店舗数には、消化仕入契約に基づく百貨店等への出店を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の63億23百万円より7億16百万円減少し、56億6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2億55百万円のマイナス（前年同期は11億11百万円のプラス）となりました。これは主に売上債権の減少7億17百万円、減価償却費3億6百万円及び仕入債務の増加2億98百万円の資金増加と、法人税等の支払額6億85百万円、たな卸資産の増加6億79百万円、未払金の減少1億82百万円及び税金等調整前四半期純損失1億22百万円の資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは4億33百万円のマイナス（前年同期は13億31百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金保証金の返還2億54百万円の収入と、固定資産の取得4億16百万円、敷金保証金の差入1億46百万円及び子会社への出資96百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは25百万円のマイナス（前年同期は2億77百万円のマイナス）となりました。これは主に長期借入金の増加10億42百万円（純額）の収入と、短期借入金の減少7億60百万円（純額）及び配当金の支払3億1百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月8日に公表した通期の連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下

「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が31百万円減少し、利益剰余金が20百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,323	5,606
受取手形及び売掛金	3,009	2,292
商品及び製品	10,457	10,989
仕掛品	1,777	1,665
原材料及び貯蔵品	1,933	2,192
その他	478	527
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	23,979	23,273
固定資産		
有形固定資産	2,119	2,178
無形固定資産	385	343
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,386	4,273
その他	2,720	2,920
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,105	7,192
固定資産合計	9,610	9,715
資産合計	33,589	32,988
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,753	5,051
短期借入金	1,010	250
1年内返済予定の長期借入金	3,735	4,037
未払法人税等	731	223
賞与引当金	393	402
その他	2,026	1,830
流動負債合計	12,651	11,794
固定負債		
長期借入金	5,594	6,335
役員退職慰労引当金	490	501
関係会社事業損失引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,619	1,630
資産除去債務	53	65
その他	118	112
固定負債合計	7,880	8,648
負債合計	20,531	20,442

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	7,982	7,399
自己株式	△146	△146
株主資本合計	12,792	12,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	422
為替換算調整勘定	△67	△94
退職給付に係る調整累計額	8	8
その他の包括利益累計額合計	266	337
純資産合計	13,058	12,545
負債純資産合計	33,589	32,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	15,731	15,984
売上原価	6,076	6,278
売上総利益	9,655	9,705
販売費及び一般管理費	8,841	9,658
営業利益	813	47
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	32	24
負ののれん償却額	163	-
受取手数料	19	17
為替差益	104	-
その他	25	8
営業外収益合計	346	50
営業外費用		
支払利息	108	83
為替差損	-	49
その他	17	9
営業外費用合計	125	142
経常利益又は経常損失(△)	1,033	△44
特別利益		
固定資産売却益	0	-
受取補償金	8	-
特別利益合計	8	-
特別損失		
固定資産除売却損	45	30
店舗閉鎖損失	2	-
減損損失	32	47
特別損失合計	80	78
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	961	△122
法人税等	397	180
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	564	△302
四半期純利益又は四半期純損失(△)	564	△302

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	564	△302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	97
為替換算調整勘定	36	△27
退職給付に係る調整額	-	△0
その他の包括利益合計	△20	70
四半期包括利益	543	△232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	543	△232
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	961	△122
減価償却費	253	306
減損損失	32	47
負ののれん償却額	△163	-
のれん償却額	7	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	88	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	42
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	8
受取利息及び受取配当金	△32	△24
支払利息	108	83
固定資産除売却損益(△は益)	32	30
売上債権の増減額(△は増加)	328	717
たな卸資産の増減額(△は増加)	△584	△679
仕入債務の増減額(△は減少)	257	298
未払金の増減額(△は減少)	△102	△182
その他	99	△57
小計	1,292	489
利息及び配当金の受取額	32	24
利息の支払額	△108	△84
法人税等の支払額	△105	△685
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,111	△255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
子会社出資金の取得による支出	△60	△96
固定資産の取得による支出	△470	△416
固定資産の売却による収入	1	-
敷金及び保証金の差入による支出	△59	△146
敷金及び保証金の回収による収入	250	254
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△970	-
その他	△21	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,331	△433

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△290	△760
長期借入れによる収入	2,300	3,080
長期借入金の返済による支出	△1,888	△2,037
社債の償還による支出	△110	-
割賦債務の返済による支出	△10	△5
リース債務の返済による支出	△10	△2
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△267	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277	△25
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△495	△716
現金及び現金同等物の期首残高	5,891	6,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,395	5,606

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。